

石巻市の学校防災主任研修に参加し「復興・防災マップづくり」の普及に向けた講演を行いました(2016/9/14)

テーマ：学校安全、防災教育、石巻市、教員研修
場所：石巻市立湊小学校

2016年9月14日、石巻市立湊小学校で開催された防災主任研修において、当研究所の桜井愛子准教授（情報管理・社会連携部門）が講師として「復興・防災マップづくりプログラム実践の手引（案）」の紹介を行いました。同研修は、市内学校園の防災主任教諭を対象とした湊小学校の公開避難訓練に続いて行われ、研修には約80名が参加しました。

「復興・防災マップづくり」プログラムは、東日本大震災後の2012年度から、被災地の学校における災害復興・防災教育プログラムとして、鹿妻小学校の4年生による「復興マップづくり」として総合的な学習の時間を用いて取り組みが始められました。2014年度から市内の小中学校で「復興・防災マップづくり」として展開され、今年度までに合計10校で実践が行われています。当研究所の防災教育国際協働センターでは、さらなる普及を目指して教員向けの手引を作成しています。講演では、同手引を用いて、石巻市の小中学校におけるマップづくりの意義と重要性、各学校の地域性や児童生徒の状況等、各学校の実情に応じたプログラムの自校化に向けた準備の手順、学習指導計画の事例などが紹介されました。実践の手引を活用して、「復興・防災マップづくり」に取り組む市内学校が増えていくとともに、各学校の地域に根ざした多様なマップづくりが展開されることが期待されます。



講演の様子

文責：桜井 愛子（情報管理・社会連携部門）